氏名	**竹　久　　亨**
学位の種類	医　学　博　士
学位授与番号	乙　第 281 号
学位授与の日付	昭和43年３月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 （学位規則第５条第２項該当）
学位論文題目	**無カタラーゼ血液症に出現する高原氏病の成因についての実験的研究** **第1報　過酸化水素注射後のアヒル口蓋粘膜の組織化学的研究** **第2報　酸化酵素に対する過酸化水素の影響についての生化学的研究**
論文審査委員	教授 緒方正名　教授 高原滋夫　教授 水原舜爾

学位論文内容の要旨

無カタラーゼ血液症に出現する特有な口腔壊疽である高原氏病の成因については，主として血液学並びに組織学的方面より研究が重ねられている。著者は高原氏病の成因を追求するために，組織化学的方面並びに生化学的方面より実験的研究を行なった。

第１報においては血液カタラーゼ含量の少ないアヒルを選び，対照として血液カタラーゼ活性度の高い家兎を使用して，口蓋粘膜下に H_2O_2 注射を行なった。その結果カタラーゼ活性が低く H_2O_2 に対する抵抗性の低いアヒル口蓋粘膜では家兎に比較して高原氏病類似の病変が強く現われるが，その病変部のコハク酸脱水素酵素系の阻害の存在もアヒルにおいて著明であることがわかった。

第２報においては，種々な組織のホモジネートの H_2O_2 添加によるコハク酸脱水素酵系の阻害実験を行なった。その結果カタラーゼ活性の低い組織の方がカタラーゼ活性度の高い組織に比べて，H_2O_2 添加によるコハク酸脱水素酵素系の活性阻害が著明に現われた。また現 H_2O_2 のコハク酸脱水素酵素系に対する阻害作用は reversible であることが判明した。

（昭和43年２月　岡山医学会雑誌　第80巻1.2号掲載予定）

論文審査の結果の要旨

本研究は，無カタラーゼ血液症に出現する高原氏病の成因を，実験的に組織化学的並びに生化学的方面より研究したものであるが，この成因に関する従来の研究に加えて，呼吸酵素系の阻害が原因の1つであるという重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって本研究者は，医学博士の学位を得る資格があると認める。